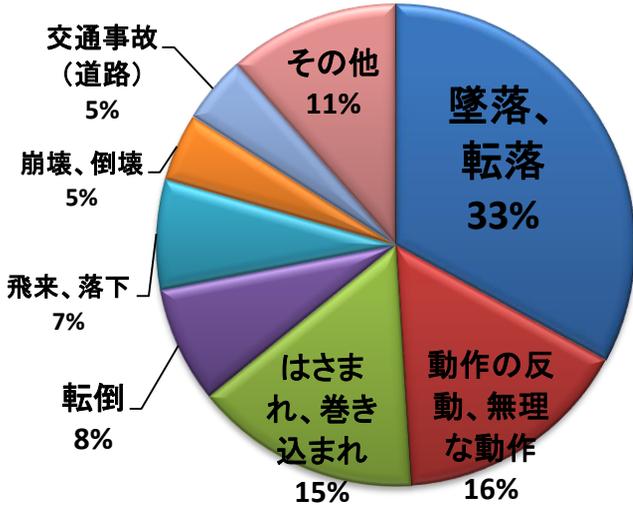


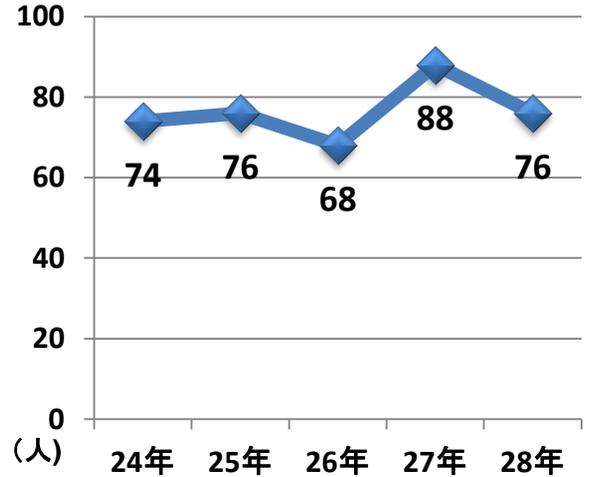
道路貨物運送業の労働災害を防止しましょう！

足立労働基準監督署管内(足立区・荒川区)の道路貨物運送業(トラック運送業)においては、毎年約80人が休業4日以上労働災害に被災しており、災害多発業種となっています。発生した災害を見ると、同じような災害が繰り返し発生している状況が見られます。企業全体で災害防止の取組を行い、同種災害の発生を防止しましょう。

1. 足立区・荒川区の道路貨物運送業の労働災害発生状況



事故の型別の労働災害発生状況
(平成26～28年、休業4日以上)



労働災害発生状況の推移
(過去5年間、休業4日以上)

事故の型別に見ると、墜落・転落災害が最も多く発生しており、3割以上を占めています。次いで、動作の反動、無理な動作(腰痛など)、はさまれ、巻き込まれと続きます。交通事故防止対策だけでは労働災害は減少しないという状況になっています。

長期的には減少してきた、足立・荒川の道路貨物運送業の休業災害ですが、ここ5年間についてはほぼ横ばいの状況で停滞しています。なお、足立・荒川で発生している労働災害の約10%が道路貨物運送業で毎年発生しています。

2. 労働災害防止対策チェックリスト

チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/>
荷役作業においては保護帽を使用させている。	<input type="checkbox"/>
雨天時等滑りやすい状態で作業を行う場合には、耐滑性のある靴を使用させている。	<input type="checkbox"/>
作業計画、作業手順書を作成し、複数の作業員で荷役作業を行う場合は、作業指揮者を配置している。	<input type="checkbox"/>
荷台の上での作業については、簡易作業床を使用するなどし、荷台のあおりに乗っての作業は避けさせている。	<input type="checkbox"/>
荷台への昇降については、昇降設備(踏み台等の簡易なものでもよい。)を使用させている。	<input type="checkbox"/>
荷台の上で作業を行う場合は、荷台端付近で背を荷台外側に向けないようにし、後ずさりさせないようにしている。	<input type="checkbox"/>
不安定な荷の上では移動させないようにしている(一度地面に降りて移動すること。)	<input type="checkbox"/>
安全帯を取り付ける設備がある場合は、安全帯を使用させている。	<input type="checkbox"/>
安全に積みおろしができるように配慮した積付けを行い、適切な固定・固縛を行わせている。	<input type="checkbox"/>

3. 労働災害の事例と対策 ～足立・荒川で発生した典型的な労働災害から～

事例1: 荷台から降りる時に、負傷した。

1. 荷台の仕分けを終え荷台より降りる際、バランスを崩し左足かかとを強打した。
2. 荷台から降りた時、地面に植木鉢があり足をとられた。
3. 荷台から降りる時、足を滑らせた。
4. 荷台から降りる際、バランスを崩して左手首を負傷した。

(対策)

1. 安全衛生教育の実施(特に未経験者・雇入時の教育。怖さを知らないので無理をしがちです。)
2. 災害事例の周知(自分の意思で降りる時でも、災害が多発していることを知る。)
3. 企業全体で無理な作業はしないことを徹底(個人任せで、次はもっと注意!では災害は繰り返されます。)

事例2: 荷台での作業中に、荷台から落下して負傷した。

1. あおりに乗り、シートをまくっていたら、留め具がはずれて落下した。
2. 積荷中、足を滑らせて荷台から落下した。
3. 荷台上にて、シート掛け作業中、荷台後部から足を踏み外して落下した。
4. テールゲートの1メートルの高さから足を踏み外して落下した。

(対策)

1. 作業手順の見直し(できる限り荷台上の作業から、地上での作業に変更する。)
2. 安全衛生教育の実施(危ないかな?という作業では、繰り返しにより、いつか転落してしまいます。)
3. 災害事例の周知(高さ1メートルの荷台からの転落でも休業災害に。)
4. 耐滑性のある安全靴、保護帽、安全帯などの使用

事例3: 荷物と壁の間にはさまれた。

1. ハンドキャリアの冷蔵庫と床にはさまれた。
2. バランスを崩して倒れてきた断裁機にはさまれた。
3. パレットを下ろそうとしたとき、パレットと壁のあいだに指をはさんだ。
4. クレーンで吊られてきた鋼材を積み込み中、荷崩れがおき指をはさまれた。

(対策)

1. 作業計画を作成して作業する(特に重量物は計画に従って作業する。)
2. 荷の状態に応じた作業指揮者を定める(複数人での運搬は作業指揮者の元で行う。)
3. 安全衛生教育の実施

事例4: 無理な体勢で腰を痛めた。

1. お米2箱を配達するとき無理な体勢となり腰を痛めた。
2. カゴ台車を反転させるときに体をひねった。
3. キャスター付きBOXをスロープを使って押し上げる時に右手首をひねった。
4. 玄関先で靴をはこうとしたときに足を捻った。

(対策)

1. 安全衛生教育の実施(正しい作業姿勢、動作による荷物の運び方。)
2. 作業手順の見直し(無理な体勢での作業は見直す。)
3. 準備体操の実施